

2025年度の需給見通しについて (報告)

2024年9月30日

調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 事務局

- 2025年度の需給見通しは、2024年度供給計画取りまとめ時点（2024年3月）において、**一部のエリアで年間EUEの基準値を超過**していた。
- 2024年度供給計画取りまとめ以降、容量市場の追加オークションの約定結果等を踏まえ、**現時点で把握可能な最新データを用いて2025年度の需給見通しを確認**したため、ご報告する。
- 2025年度供給計画取りまとめ（2025年3月）に向け、需給両面の変化を踏まえて需給バランスを見直し、需給状況を引き続き注視していく。

- 現時点で把握可能な最新のデータを用いて、従来の供給計画や電力需給検証の考え方に基づき需給バランスを評価した。
 - H3需要：2024年度(第2年度)供給計画の想定値
 - H1需要：2024年の電力需給検証報告書の想定値
 - 供給力：2024年度供給計画の供給力を元に事業者による変更届出や新規届出、容量市場の追加オークションの約定結果等を反映
厳気象・稀頻度対応として、2024年の電力需給検証報告書における火力増出力や容量市場における発動指令電源の約定分等を考慮

- 容量市場の追加オークションを実施したが、供給信頼度基準を満たさないエリアが存在する結果となった。
- 直ちに供給力が不足するものではないが、需給状況を注視し、必要に応じて供給力対策を検討することとされた。

追加オークション（実需給年度：2025年度）の約定結果

- 2024年5月10日～5月22日において追加オークション（北海道・東京・九州の3エリアを対象とした供給力の調達オークション）が開催され、その約定結果が広域機関より公表された。
 - － 約定総容量は、約133万kW
（北海道:約58万kW 東京:約30万kW 九州:約45万kW）
 - － エリアプライスは、以下のとおり。
なお、同じ実需給年度を対象としたメインオークションの約定価格も合わせて示す。
 - ・ 北海道エリア : 13,761円/kW（メインオークション 5,242円/kW^(※1)）
 - ・ 東京エリア : 3,495円/kW（メインオークション 3,495円/kW）
 - ・ 九州エリア : 5,029円/kW（メインオークション 5,242円/kW^(※1)）
 - － 経過措置等を踏まえた約定総額は、約105億円^(※2)
 - － 経過措置考慮後の総平均単価^(※3)は、約7,880円/kW
- なお、追加オークションで供給力を調達した結果として、**供給信頼度基準を満たさないエリアが存在**する。これらのエリアについては、実需給年度において直ちに供給力が不足するものではないが、**需給状況を注視し、必要に応じて供給力対策を検討**する。

*1: 2025年度実需給向けのメインオークションでは、北海道エリア・九州エリアにおいて一部マルチプライス方式が適用されている

*2: 追加オークションの結果を反映した容量拠出金の試算値に対する割合は約2%

*3: 「経過措置等を踏まえた約定総額÷約定総容量」にて算出

■ 2024年度供給計画取りまとめ（2024年3月）以降の電源の休廃止や補修停止を反映。

主な補修計画の変更

補修等に伴う停止期間（3月時点）
補修等に伴う停止期間（現時点）

エリア	発電所名・号機 (電源種別)	設備容量 (万kW)	2025年度												変更理由
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北	東新潟 (火力)	2号 + 60	長期計画停止												長期計画停止 取りやめ
			長期計画停止取りやめ												
関西	高浜 (原子力)	3号 + 87	2025/1/16～未定												運転期間延長 の認可
			2/22～5/27												
関西	高浜 (原子力)	4号 + 87	2023/12/16～未定												不具合の復旧・ 運転期間延長 の認可
			5/29～8/23												
関西	南港 (火力)	1号 - 60	廃止												設備更新に伴う 廃止
			4/18～6/19												
関西	南港 (火力)	2号 - 60	廃止												設備更新に伴う 廃止
			廃止												
関西	南港 (火力)	3号 - 60	廃止												設備更新に伴う 廃止
			廃止												

※2024年3月以降に提出された供給計画の変更届出に基づく

- 年間EUEで評価した結果、電源の休廃止や補修停止等により**東京エリアにおいて、目標停電量を超過**した（目標停電量：0.033kWh/kW・年 ※沖縄エリアは1.996kWh/kW・年）。
- 東京エリアで**供給信頼度が低い10・11月を対象に補修調整による対策が必要**。

今回

(単位：kWh/kW・年、kWh/kW・月)

	年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	0.031	0.000	0.000	0.000	0.000	0.004	0.003	0.002	0.015	0.000	0.000	0.000	0.007
東北	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
東京	0.042	0.000	0.000	0.003	0.001	0.003	0.000	0.030	0.006	0.000	0.000	0.000	0.000
中部	0.019	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.017	0.000	0.000
北陸	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
関西	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
中国	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四国	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
九州	0.031	0.000	0.009	0.000	0.001	0.004	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.013	0.000
9エリア計	0.022	0.000	0.001	0.001	0.000	0.002	0.000	0.010	0.002	0.000	0.003	0.001	0.000
沖縄	0.095	0.004	0.019	0.005	0.032	0.003	0.005	0.011	0.003	0.005	0.006	0.001	0.000

参考：2024年度供給計画（2024年3月時点）

	年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	0.085	0.000	0.000	0.000	0.001	0.010	0.033	0.011	0.018	0.000	0.000	0.000	0.009
東北	0.004	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.003	0.000	0.000	0.000	0.000
東京	0.043	0.001	0.000	0.003	0.001	0.002	0.000	0.031	0.006	0.000	0.000	0.000	0.000
中部	0.017	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.015	0.000	0.000
北陸	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
関西	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
中国	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四国	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
九州	0.039	0.001	0.013	0.000	0.001	0.005	0.000	0.000	0.000	0.001	0.003	0.014	0.001
9エリア計	0.024	0.000	0.001	0.001	0.000	0.002	0.001	0.011	0.003	0.000	0.003	0.001	0.000
沖縄	0.094	0.004	0.019	0.005	0.032	0.003	0.005	0.011	0.003	0.005	0.006	0.001	0.000

■ 供給計画取りまとめの大臣意見に基づき、発電事業者へ補修調整を依頼する。

3. 補修調整後の需給バランス変化への対応

(中略)

一方で、発電事業者や一般送配電事業者へのヒアリングでは、今後、補修作業に従事する施工力確保等が困難になる状況であり、2年度前の「容量停止計画の調整」以降、補修時期の調整が難しくなるとの声が聞かれた。そのような背景のもと、今後も起こり得る「容量停止計画の調整」以降の需給バランスの変化に対応する有効な方法について検討が求められている。

そのため本機関としては、「容量停止計画の調整」や追加オークション以降に発生する状況変化を把握すべく、これまで実施してきた電力需給検証やkWモニタリングに加え、需給状況が厳しくなる可能性がある場合には、事業者への準備や行動を促すべく、特に端境期について、今まで以上にきめ細かな情報発信の在り方の検討を深めていきたい。

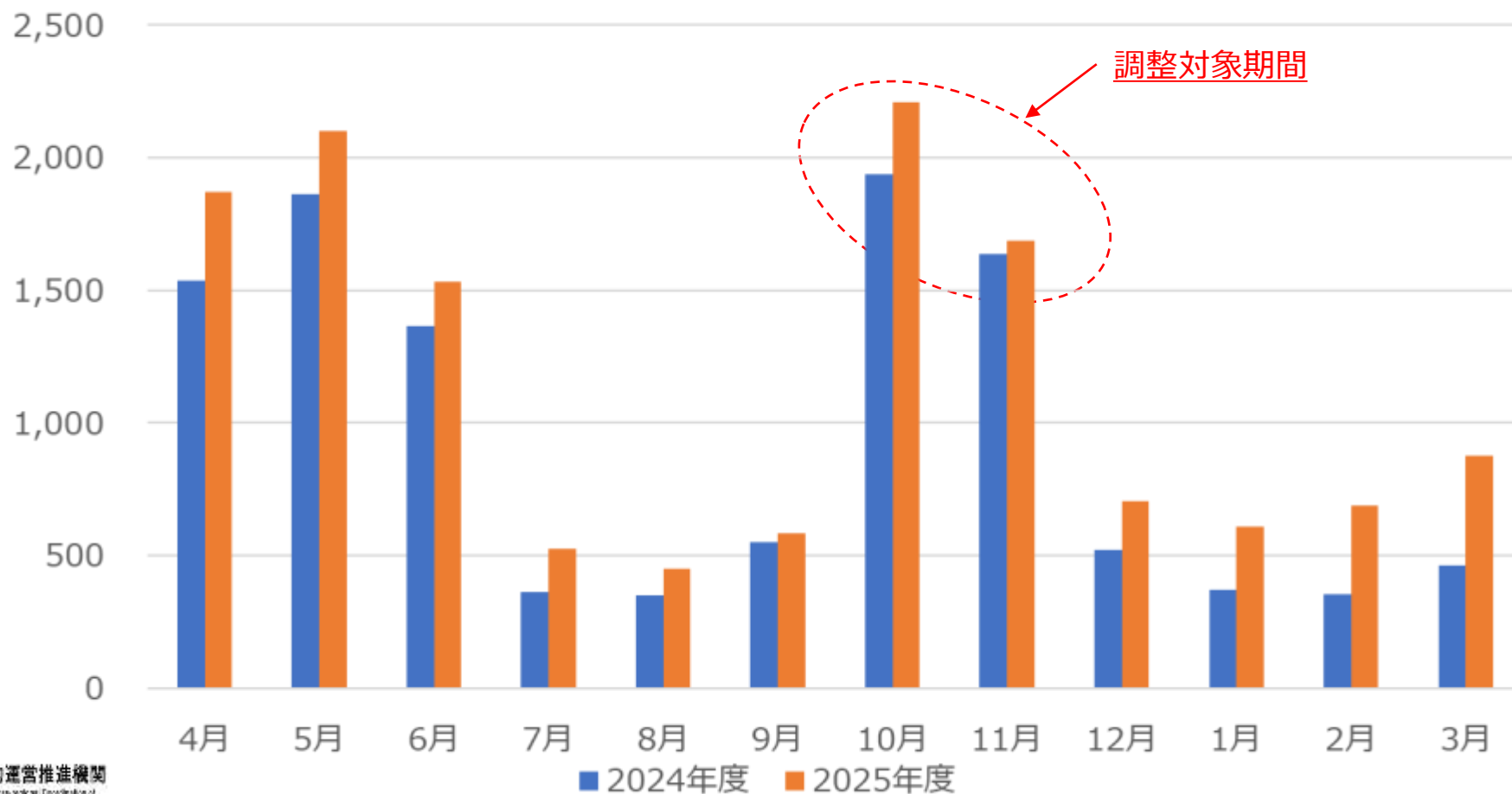
発電事業者や小売電気事業者においては、これら情報をつぶさに把握・分析するとともに、需給ひっ迫が想定される場合においては、安定供給を担う電気事業者としての取るべき行動ができることはもとより、販売機会であるとの観点からも、補修時期の調整等の諸準備を期待したい。

なお、実需給の1年前等に、大規模災害等による電源の脱落等の発生を想定すると、事業者による企業努力だけでは、安定供給を維持できない可能性もあり得る。このような事象への対応として、現在、国において予備電源制度の検討が進められているところである。

本機関は、予備電源の調達等のプロセスの実施主体となると整理されており、国と連携して、予備電源制度の導入に向けた検討を進めていく予定である。国においても、予備電源制度の導入に向けた諸施策の検討に合わせ、同電源の短期立ち上げプロセス等の制度も並行して検討をお願いしたい。

- 端境期は高需要期に比べて多くの補修停止が計画されており、特に10月の補修量の多さは顕著に表れている。
- 短期間の補修計画を中心に、供給信頼度が低い10・11月から他月へ再計画する等の補修調整により供給力を確保する。

(万kW)



- 今回の供給信頼度評価の結果は、容量市場の追加オークションの結果とは異なっている。
- その違いは、追加オークション時点で織り込んでいない容量市場外の供給力（供給計画の変更届出や新規事業者の届出など）を現時点の最新データに見直したことが主な要因と考えられる。

<参考> 約定処理上の市場分断について

【追加オークション】²¹

- 北海道、東京、九州エリアにおいて調達オークションを実施し、約定処理において当該エリアの目標とする供給信頼度（0.033 kWh/kW・年）を充足するまで上限価格の範囲で供給力を調達した。
- 調達オークションにおける調達量は133万kW（内訳：北海道58万kW、東京30万kW、九州45万kW）となり、約定処理後に**東京、九州が不足ブロック（エリア）**となり、**北海道が充足ブロック（エリア）**となった。
- 東京、九州エリアが不足エリアのまま追加できる電源がなくなったため、約定処理を終了した。

単位：追加量[万kW]、供給信頼度[kWh/kW・年]

エリア	開催判断時	約定処理(結果)	
	供給信頼度	追加量	供給信頼度
北海道	0.328	+58	0.010
東北	0.022		0.015
東京	0.091	+30	0.070
中部	0.015		0.015
北陸	0.000		0.000
関西	0.000		0.000
中国	0.000		0.000
四国	0.000		0.000
九州	0.395	+45	0.141

※ 表の背景を、不足エリアについては赤、充足エリアについては青で着色。

※ 供給信頼度は四捨五入による表記上、零になる場合があるが、実際には停電量[kWh/年]が発生している。

容量市場追加オークション約定結果（対象実需給年度：2025年度）の公表について（2024年7月10日）

https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2024/files/240710_tsuikauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2025.pdf

■ H3需要に対して、**全ての月・エリアで予備率10%以上を確保できる見通し。**

今回

※2024年供給計画取りまとめ時点から供給力のみ更新

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	20.6%	29.5%	33.9%	23.1%	18.5%	22.3%	21.9%	13.9%	21.1%	16.5%	17.8%	24.1%
東北	20.6%	18.8%	18.1%	17.1%	18.5%	27.7%	21.9%	13.9%	21.1%	16.5%	17.8%	24.1%
東京	20.6%	18.8%	18.1%	17.1%	18.0%	27.7%	10.9%	13.9%	21.1%	16.5%	17.8%	24.1%
中部	28.5%	30.1%	27.2%	17.1%	18.0%	27.7%	30.8%	23.9%	21.1%	15.7%	17.8%	33.5%
北陸	28.5%	30.1%	27.2%	17.1%	18.0%	27.7%	30.8%	23.9%	21.1%	19.2%	18.2%	33.5%
関西	28.5%	30.1%	27.2%	17.1%	18.0%	27.7%	30.8%	23.9%	21.1%	19.2%	18.2%	33.5%
中国	28.5%	30.1%	27.2%	17.1%	18.0%	27.7%	30.8%	23.9%	21.1%	19.2%	18.2%	33.5%
四国	28.6%	34.6%	37.6%	43.9%	42.1%	46.7%	56.1%	51.6%	21.1%	21.4%	19.1%	37.1%
九州	28.5%	21.7%	27.2%	17.1%	18.0%	27.7%	30.8%	23.9%	21.1%	19.2%	16.0%	33.1%
沖縄	60.1%	40.7%	38.8%	29.8%	39.7%	34.7%	42.3%	57.3%	66.2%	60.5%	74.2%	83.8%

参考：2024年度供給計画（2024年3月時点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	19.3%	29.6%	33.9%	23.2%	18.0%	22.0%	17.7%	12.7%	20.5%	15.5%	17.0%	23.0%
東北	19.3%	17.3%	16.8%	17.1%	18.0%	27.1%	17.7%	12.7%	20.5%	15.5%	17.0%	23.0%
東京	19.3%	17.3%	16.8%	17.1%	18.0%	27.1%	10.9%	12.7%	20.5%	15.5%	17.0%	23.0%
中部	29.1%	30.7%	28.1%	17.1%	18.0%	27.1%	30.7%	23.7%	20.5%	15.5%	17.1%	33.6%
北陸	29.1%	30.7%	28.2%	17.2%	18.0%	27.1%	30.7%	23.7%	20.5%	19.1%	18.3%	33.6%
関西	29.1%	30.7%	28.2%	17.2%	18.0%	27.1%	30.7%	23.7%	20.5%	19.1%	18.3%	33.6%
中国	29.1%	30.7%	28.2%	17.2%	18.0%	27.1%	30.7%	23.7%	20.5%	19.1%	18.3%	33.6%
四国	29.1%	34.6%	35.8%	42.5%	40.7%	45.0%	54.1%	49.6%	20.5%	19.8%	18.3%	35.2%
九州	29.1%	21.3%	28.2%	17.2%	18.0%	27.1%	30.7%	23.7%	20.5%	19.1%	15.2%	32.1%
沖縄	60.1%	40.7%	38.8%	29.8%	39.7%	34.7%	42.3%	57.3%	66.2%	60.5%	74.2%	83.8%

- 前年度と同様に2025年度供給計画の取りまとめに向けて、事業者へ働きかけを行う予定。

参考：2024年度供給計画に向けた事業者への依頼文書（2023年12月）

更新日：2023年12月1日

2024年度のさらなる供給力確保について

日頃より供給計画の取りまとめをはじめ、本機関の取り組みにご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

本機関は、電気事業法第29条に基づき電気事業者が国に届け出る供給計画について、同条及び業務規程第28条に基づきこれを取りまとめています。

2024年度について一定の仮定をおいた需給バランスの試算では、第92回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会（2023年11月17日）で示している通り、必要とするレベルの供給力を確保できる見通しです。しかしながら、端境期（春季・秋季）は、夏季・冬季に比べて多くの補修停止が計画されているため、夏季・冬季並の気象条件となった場合の需要増加や電源トラブル等があれば、需給が厳しくなる可能性があります。具体的には、東京エリアの6月・11月で供給予備力が相対的に少なくなっており、供給力確保策を実施していく必要があると考えております。

このような需給状況に加えて、2024年度供給計画に向けて需要や供給力が更新されること等により、需給が厳しくなる可能性があります。

以上のことから、各事業者におかれましては、2024年度供給計画に向けた補修停止計画を策定するにあたり、夏季・冬季の供給力に極大影響を与えない範囲で、以下の事項にご協力をお願いいたします。

（後略）

- 年度末の取りまとめに向け、事業者間の調整等を踏まえ、需要や供給力の変化が判明してくる。
- **今後の供給計画取りまとめのステップの中で、需給状況を注視し、必要に応じて供給力対策を検討する。**

今後の変化要素とその判明時期

	変化要素	判明時期	備考
供給力	休廃止計画や補修計画の追加・変更	2月中旬 〔供給計画案 取りまとめ〕	＜現時点の計上方法＞ ・現時点で判明している計画変更等以外は2024年度供給計画に基づき計上 ＜今後の可能性＞ ・電源の稼働状況等を踏まえて補修計画が追加・変更となる可能性 ・休廃止計画が新規計上される可能性 ・販売計画等を踏まえて休止計画が変更となる可能性
	再エネ供給力の変化 (補修計画・設備量・調整係数の更新)		
	非電気事業者からの調達量の変化		
	電力卸販売や情報掲示板等による計画変更		
	電源トラブル等	—	・突発的に発生する可能性
需要	経済見通しの更新 今夏実績の分析等	1月中旬 (需要想定公表)	＜現時点の計上方法＞ ・現時点で厳気象H1 需要は2024年の需給検証を横置き ＜今後の可能性＞ ・経済見通しや実績を踏まえて想定が更新される可能性

- 2025年度の需給見通しは、2024年度供給計画取りまとめ時点（2024年3月）において、一部エリアで年間EUEの基準値を超過していた。
- 今回は、容量市場の追加オークションの約定結果等の環境変化を踏まえ、現時点で把握可能な最新データを用いて再度供給信頼度の評価を実施した。
- その結果、東京エリアにおいて目標停電量を超過したため、供給信頼度が相対的に低い10・11月を対象に補修調整による対策を実施する。
- 今後は、供給計画の取りまとめやその後の需給検証に向け、需給両面での変化を踏まえて需給バランスを見直し、需給状況を引き続き注視していく。